



「柔軟な心と執着心」

校長 岩田 明正

度重なる台風などによる被害が毎日のようにマスコミで報道され、被災された方々のご苦勞を思うと心が痛み、少しでも早い復興と安心な生活が戻ってくることを願うばかりです。

大変なニュースが多く報じられているなかで、明るいこともありました。10月9日に吉野彰氏が2019年度ノーベル化学賞を受賞されたというニュースもその一つです。ここ数年、日本人が様々な分野でノーベル賞を受賞されていて、日本の科学力の素晴らしさをあらためて感じています。

さて、今回のノーベル化学賞の受賞者は3名いらっしゃって、いずれもリチウムイオン電池の開発に携わった方々です。この電池は外部から充電すると繰り返し使用できるいわゆる充電電池というものです。ご存知のように充電電池は現代社会において、なくてはならないものとなっています。日々使っているスマートフォンなどの携帯電話、コンピュータ、電動アシスト付自転車、電気自動車など、利用されているものをあげるときりがありません。また、すぐれた充電電池の開発が未来のエネルギー事情の諸問題を一挙に解決するとまで言われるくらい電池は非常に重要なものとなっています。

さて、吉野氏が実際に何を開発したかということ、繰り返し充電しても性能が劣化しない電池です。今までの充電電池は、繰り返し充電していると、だんだん性能が悪くなり、比較的短期間で使用できなくなるという欠点がありました。その弱点を克服するために様々な改良が行われましたが、あるものはすぐ爆発してしまったり、あるものは大きすぎてしまったりしました。吉野さんは研究の中で「炭素」という物質に着目し、小型で高性能、しかも安全な充電電池をつくりあげ、製品化することに成功したのです。

私が印象に残ったのは、吉野氏の記者会見で、このような製品開発に必要なものは何かという質問に対して、「柔軟な心と執着心」とおっしゃっていたことです。これは、一つのことにとこだわることなく、いろいろな可能性を考え、試してみる。はじめから結論を決めつけることなく、やってみようという気持ちと、最後まであきらめず取り組み、挑戦し続けていこうとする信念が大切だということだと思います。一見すると相反する心のようにも見えますが、決めたことをやり遂げるぞ、目標を達成するぞという熱い気持ちには共通するものがあります。日々の生活の中で、よく「それは無理だ」と投げ捨てたり、「どうでもいいや」と流してしまったりしてしまいがちですが、何かを成し遂げるためには、途中で放棄しないで取り組み続ける気持ちが大事ということなのでしょう。

また、私は様々な発想をする力、探求、検証していく力には、きちんとした基礎的な知識と幅広い知識の両方が必要と考えます。この知識なしに、難しい課題に取り組み、立ち足かかる壁を乗り越えることはできないからです。そのためにはきちんと学習を重ね、多くのことを経験し、自分の中に吸収していくことが大切です。

この知識を定着させること、粘り強く取り組むこと、様々なことを経験し、心を豊かにしていくことは、舞岡小学校の教育目標にも掲げられていて、まさに子どもたちに身につけてほしい姿を表しています。もしかしたら、この目標を達成していくためにみんなで努力し続けたら、将来、舞岡小学校卒業生の中からノーベル賞の受賞者が出てくるかも！そのような期待をひそかに抱いている今日この頃です。

1年生

踊り場公園ログハウス遠足に行ってきました。過ごしやすい天候のなか、遊具や鬼ごっこを楽しみました。秋探しでは、松ぼっくりをたくさん拾い、笑顔もいっぱい。手作りお弁当を、おいしそうに頬張る姿も見られました。



2年生

ケアプラザで、合唱を披露してきました。利用者の片や働いている方へ、まちたんけんの際のお礼も兼ねて、マイコンサートに向けて練習中の「パプリカ」と「かっこう」を歌いました。きれいな歌声を、お世話になった方々へ送ることができて、子どもたちはみな満足している様子でした。



3年生

24日(木)社会科「店で働く人と仕事」の学習で、マルエツに見学に行きました。店内を見学しながら、「1つの商品でもたくさんの種類がある。」など様々な工夫を見つけました。見学後の質問タイムでは、疑問に思ったことを、直接店長に尋ねることができ、両クラスともたくさんの質問が出ていました。



4年生

10月1日に神奈川県警察本部を見学しました。地下鉄を吉野町で降りて関内まで歩き、吉田新田の広さを実感しました。「昔、ここが海だったなんて信じられない。」実際に歩くことでたくさんの疑問をもつことができました。県警では、通信指令室や交通管制センターを実際に見て、警察の仕事について理解を深めました。



5年生

10月4日にブリヂストンで働く方をお招きして、ものづくりについてのお話を伺いました。お金もうけばかりを考えるのではなく、環境にも配慮していくことが大切だと、講義やゲームを通じて学ぶことができました。これからの社会科の学習に繋がる物もあり、真剣に話を聞いていました。



6年生

爽やかな秋空が広がる中、三ツ沢公園陸上競技場で開催された、横浜市立小学校体育大会に参加しました。市内4区の6年生約7000人がダンス・長縄・タイムトライアル7・100m・リレーに出場しました。一人一人が練習の成果を発揮し、素晴らしい大会になりました。当日の応援、当日までのご協力ありがとうございました。



長縄集会

10月4日(金)に長縄集会を行いました。当日だけではなく、集会に向けてクラスで声をかけ合ったり目標を決めたりして、一生懸命練習する姿も見られました。本番では、どのクラスも

「協力の花」「チャレンジの花」を意識し、クラスで一致団結して跳ぶ姿が印象的でした。



ペア集会

集会委員会によるペア集会を行っています。6・3年、4・2年、3・1年で長縄やドッジビー、ぜんめつおんを行いました。長縄では、上の学年が下の学年の友達に優しく教えてあげる姿がみられました。ドッジビーでも高学年が低学年にフリスビーを渡してあげたり、投げ方を教えてあげたりして交流することができました。これをきっかけに他学年との交流がより深まることを期待しています。



児童指導専任より

本校では、下校時に事件や事故に合わないよう、下校時刻をできるだけ合わせ、登校班や同じ方面の友達と複数で帰るように指導しています。通院や体調不良等の理由で遅刻・早退する場合には、保護者に送りや迎えに来ていただき、児童一人では帰さないようにしています。ご理解とご協力をお願いします。

また、9～11月は、登校しぶりや不登校など、様々な問題が増加する傾向があります。来校している学校カウンセラーの中村優子先生は、学校での問題だけでなく、ご家庭での様子や子育てなど、幅広く相談にのっていただけます。お気軽にご相談ください。毎月の来校予定と希望表を月末にプリントでお知らせしています。

お願い

昨今の報道でもありましたが、〈放課後キッズクラブ〉への参加の変更を依頼する不審な電話が市内で相次いでいるようです。

学校の方にも「朝の段階では参加を予定していたが、参加せずに帰るように。」「急な用事ができたのでキッズに行くように。」と言った連絡電話はよくかかっています。そこで、キッズへの参加変更の連絡は、確認のために学校に提出されている〈児童カード〉で確認した後に受けることにいたします。ご面倒をおかけしますが、ご理解いただき、ご協力をお願いいたします。



体操服について

寒い時期の体育の時間は体育着の上に長袖の服を着ることができます。安全上、**ファスナーやボタン、フードが付いていないトレーナーのような物**をご準備ください。



新しい職員のご紹介

11月より、非常勤の栄養職員 宮内絹子先生が赴任されます。週3日の勤務ですが、給食全般についてお世話いただきます。アレルギーについても対応されますので、よろしくお願いいたします。派遣できていただいていた湯沢栄養士については、サポートと言う形で今後ともご指導いただきます。